



Sea級 グルメスタジアム

 日本
財団
THE NIPPON
FOUNDATION

 海と日本
PROJECT

2019

実施報告

【カリキュラム③】

宇和海を全国発信！

～“養殖タイを使った商品開発”～

2019年9月28日（土）

in 田中蒲鉾本店

itv6

開催概要

○事業名

海と日本プロジェクト Sea級グルメスタジアムin愛媛

○実施時期

令和元年 5月～9月

○実施日程・場所

- ① 令和元年 5月25日（土） 宇和島水産高校（愛媛県宇和島市）
- ② 令和元年 6月15日（土） 宇和島水産高校（愛媛県宇和島市）
- ③ 令和元年 9月28日（土） 田中蒲鉾本店 本社工場（愛媛県宇和島市）

○主催

海洋キッズスクール実行委員会

○協力

愛媛県立宇和島水産高校
うわじま圏域子ども観光大使
株式会社田中蒲鉾本店

○内容

次世代へ海を引き継ぐために、海を介して人と人がつながる

“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環として開催。

高校生による小学生を対象とした授業を通して、地元の海の現状と課題を伝える。

授業では、田中蒲鉾本店の工場見学やじゃこ天の製造体験も行う。

また、カリキュラムを通して田中蒲鉾本店とタイアップし、

参加した高校生と小学生がオリジナルパッケージ商品を製作、

11月に東京都で行われるイベントでPR・販売する。

実施計画

カリキュラム ③	
テーマ	宇和海を全国発信！ ～“養殖タイ”を使った商品開発～
開催日時	令和元年 9月28日（土）8:00～12:30
開催場所	田中蒲鉾本店 本社工場 ならびに 秀長水産いけす
参加者	宇和島水産高校生徒（10人程度） うわじま圏域子ども観光大使（40人程度）※小学生 水産加工業者（田中蒲鉾本店） 水産会社（秀長水産）
講座次第	<p>1. 「海と日本プロジェクト Sea級グルメスタジアムin愛媛」 ～ カリキュラム③ 宇和海を全国発信！ ～</p> <p>（1）水産会社（秀長水産）いけす見学 （2）高校生のプレゼン （3）商品開発体験 （4）まとめ</p> <p>2. 閉講式 （1）関係者挨拶 （2）都内イベントの案内</p>
講座内容	<p>宇和島市は全国でも屈指のタイ養殖の産地です。タイの養殖を行っている地元水産会社（秀長水産）に協力を頂き、共同開発に必要な食材をご提供いただく他、養殖いけすの見学もさせていただきます。</p> <p>いけすの見学後は、130年以上も地元宇和島市で、じゃこてんの製造・販売を続けている「田中蒲鉾本店」様にて、「地元の水産加工業者と海とのかかわり」をテーマにしたプレゼンテーションと、都内イベントのためのオリジナル商品の共同開発についての報告を高校生に発表してもらいます。</p> <p>※共同開発については、イベント開催日までに高校生が田中蒲鉾本店を数回訪れ議論を重ねます。当日小学生に考えてもらうことは、商品のネーミングやパッケージデザインです。</p>

M C



平繁 かなえ（ひらしげ・かなえ）

出身地：広島県

趣味・特技：ハワイアンフラ・グルメレポート

担当番組：ほのぼの（毎週木・金曜日11:00～11:30）

※昨年度に引き続き担当しました

あいテレビスタッフ

役割	担当者名	備考
統括	森 謙介	企画責任者
現場責任者（東京支社）	徳永 俊一	現場コーディネーター
M C	平繁 かなえ	

外部スタッフ

所属	担当者名	備考
宇和島水産高校	喜多川 浩史	水産科長・高校サイドの全体窓口
宇和島水産高校	木村 健太郎	水産増殖科・カリキュラム③の主担当者
うわじま圏域子ども観光大使	信藤 明秀	事務局長・小学生の参加者調整
田中蒲鉾本店	山下 忠助	カリキュラム③の主担当者
秀長水産	山本 将之	カリキュラム③の協力者

※宇和島水産高校の参加生徒は、喜多川先生が全校生徒に対して当事業を周知し、希望者を募りました。
全校生徒（約170人）から、希望者20人が参加しました

スケジュール

時間	項目	備考
6:45	スタッフ 工場到着	(MP鈴木様・徳永) ⇒ ステップワゴン
7:00	平繁アナ 工場到着	※前泊する可能性あり
7:15	小学生 受付&バス乗車 高校生・関係者バス乗車 ※集合場所：田中蒲鉾本店工場	・駐車場：田中蒲鉾本店と周辺駐車場 ・バスへの誘導：田中氏とあいテレビスタッフ ・大型バスの最大乗車人数 53名
	⇒ 児童・生徒・関係者養殖いけすに移動 ※7:30をメドに工場を出発	・移動時間は30分程度 ・田中蒲鉾本店工場の留守番：塩入部長
8:00	養殖いけす到着 ⇒ いけす見学	いけす見学は1時間程度
9:00	養殖いけす出発 ⇒ 工場へ移動	移動時間は30分程度
9:30	工場到着 ⇒ 班分けし着席	適宜トイレ休憩
10:00	高校生プレゼン	
10:30	オリジナル商品開発体験	
12:15	閉会式	
12:30	終了	

実施報告

①準備 (9/27)

会場は田中蒲鉾本店本社工場内の会議室。
支給頂いた横断幕とポスター（10種）を会場に掲出しました

②集合（受付7:15・バス発車7:30） in 田中蒲鉾本店本社工場前

小学生25人・高校生が10人参加。
田中蒲鉾本店本社工場で受付を行い、養殖いけす行きのバスに誘導しました。

③養殖いけすへバス移動（7:30～8:00）



バスの車内で、関係者から挨拶・イベントの説明を行いました。

④ 養殖いけすの見学 (8:00~9:00) in 秀長水産いけす



見学するいけすは、沖合の養殖いけすで育てられた魚を水揚げする最終水揚げ場です。地元宇和島市の基幹産業である養殖現場を、高校生・小学生に見学してもらいました。ご案内いただいたのは、地元の水産会社である秀長水産の山本氏。こうして地元子どもたちに養殖業をPRする機会はありません、貴重な機会となったと喜んでいらっしゃいました。

⑤田中蒲鉾本店・本社工場へバス移動 (9:00~9:30)

再びバスに乗り、養殖いけすから田中蒲鉾本店工場に移動しました。

⑥高校生と田中蒲鉾本店田中氏によるプレゼン (10:00~10:30)

in 田中蒲鉾本店・本社工場会議室



高校生 & 田中蒲鉾本店
事前打ち合わせ



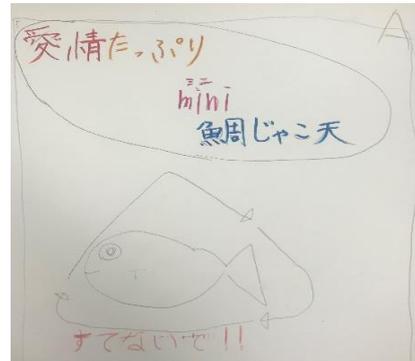
オリジナル商品
「鯛じゃこ天」



発表は宇和島水産高校の生徒と、田中蒲鉾本店の田中氏の共同で行われました。
イベント前に数回宇和島水産高校の生徒が田中蒲鉾本店を訪れ、都内イベントで発表・販売するオリジナル商品の開発について、意見交換・試作を行いました。
オリジナル商品は、“養殖タイ”を使ったじゃこ天。その開発の模様を発表し、小学生に伝えました。

またこの後、ネーミング・パッケージデザインを考える際の参考となるように、5月・6月に実施したイベントの復習も行いました。

⑦オリジナル商品開発体験 (10:30~11:45) in 田中蒲鉾本店・本社工場会議室



高校生と小学生を4グループに班分けし（1班あたり小学生6人程度・高校生2~3人）、オリジナル商品「鯛じゃこ天」の商品パッケージとネーミングを考えました。地元の海（宇和海）と地元の水産加工品（じゃこてん）を全国にPRするため、みんなで知恵を絞りました。

ディスカッションの結果、商品名は「愛情たっぷり宇和海鯛じゃこ天」に決定。パッケージデザインは各グループのデザイン画の良いところを生かして、イベント後に田中蒲鉾本店がパッケージを作成します。

【各グループネーミング（案）】

○「愛情たっぷりMINI鯛じゃこ天」

○「ぴかぴかの宇和海から来たピンクのうま鯛」

○「宇和海でとれたタイじゃこ天」

○「マダイのこと見捨てないで！感動のおいしさ鯛じゃこ天！」

⑧閉会（12:15～12:30） in 水産食品科棟 2階実習室

まず、小学生3人から今回の講座の感想を発表してもらいました。

引き続いて、高校生の代表者の挨拶、最後に「うわしま圏域子ども観光大使」信藤事務局長に講評をいただき、閉会しました。都内イベントに参加する生徒・児童による決意表明もありました。

閉会後にはアンケートを、小学生・高校生・観覧した保護者にお願しました。

また参加者全員で「海と日本プロジェクト」横断幕をもって記念撮影も行いました。

資料

○高校生&田中蒲鉾本店プレゼンシート

**海の仕事の人たちの工夫
と開発商品について**

愛媛県立宇和島水産高等学校
株式会社田中蒲鉾本店

(復習) 魚が取れない宇和海！

どうして魚が取れないの？

魚がいなくなっている
漁師さんがいない

どうして魚がいらないの？

黒潮の表面の流速は7.2km/h人が小走りするくらいのも速さ。

地球温暖化などによって魚を運んでくる黒潮が下にずれていっている

私たちがしていること

魚を無駄なく全部使う！

その① **栄養がたっぷりな頭・骨を使った商品を開発！**
また、内臓を使った商品も研究中。

その② **頭・骨・皮を乾燥させ地の肥料に**

私たちがしていること

汚い水を流さない！

魚のうろこや油が流れないようにきれいにした水のみを海に流しています。

商品会議！

去年商品の紹介

中身は、、

養殖の鯛を使ったじゃこ天とジャコカツ詰め合わせ

昨年は10月19、20日の2日間で開催！山口と福島の友達とも交流ができました。

どんな商品にするか会議をしました！

今回、商品を作るにあたって田中蒲鉾本店の会議室にて商品開発会議をしました！
(会議の様子)



どんな商品がいいかな？

宇和島の海といえばタイ じゃこ天は？
色のついた商品がいい 2枚入り 蒲鉾
ちくわ うっすらピンク お得さ
子供が欲しくなる 食べ残しを出さない

↓

**商品を作る時も
買った後も廃棄が減る商品！**

商品は『鯛じゃこ天』に決定！



○オリジナル商品開発会議スライド（ITV作成）



オリジナル商品開発

- ①ネーミング
- ②パッケージデザイン

5/25 (土) 開催

「もっと知りたい！宇和海の魅力」
～かけがえのない海について考える～



高校生
授業



校内
養殖実験
施設見学

6/15 (土) 開催

「“うわじま”海の食文化」
～じゃこてんを作ってみよう～



日本財団
海と日本
PROJECT

高校生 授業



日本財団
海と日本
PROJECT

この魚 なんて魚？



日本財団
海と日本
PROJECT

じゃこてん 製造 体験

本日開催

「宇和海を全国発信！」
～タイを使ったオリジナル商品開発～



日本財団
海と日本
PROJECT

ポイント

- ① 宇和海の魅力を実効的にPRできるもの
- ② 商品の味や特長を分かりやすく伝えられるもの
- ③ 商品開発に込めた想いを伝えられるもの

日本財団
海と日本
PROJECT

① 宇和海の魅力を実効的にPRできるもの

- **全国の人に伝えたい**
“宇和海”の良いところ
- **宇和海で育った “タイ” のすごいところ**

日本財団
海と日本
PROJECT

③ 商品開発に込めた想いを伝えられるもの

**商品を作る時も
買った後も
廃棄が減る商品！**

日本財団
海と日本
PROJECT

ポイント

- ① 宇和海の魅力を実効的にPRできるもの
- ② 商品の味や特長を分かりやすく伝えられるもの
- ③ 商品開発に込めた想いを伝えられるもの

日本財団
海と日本
PROJECT



日本財団
海と日本
PROJECT

発表をしよう！

各班 3分間

発表 (A) 三谷班

日本財団
海と日本
PROJECT

愛情たっぷり MINI鯛じゃこ天

発表 (B) 山下班 

ぴかぴかの
宇和海から来た
ピンクのうま鯛

発表 (C) 榊原班 

宇和海でとれた
タイじゃこ天

発表 (D) 中田班 

マダイのこと見捨てないで！
感動のおいしさ鯛じゃこ天！

ネーミング (案) 

【A】 三谷班
「愛情たっぷりMINI鯛じゃこ天」
【B】 山下班
「ぴかぴかの宇和海から来たピンクのうま鯛」
【C】 榊原班
「宇和海でとれたタイじゃこ天」
【D】 中田班
「マダイのこと見捨てないで！
感動のおいしさ鯛じゃこ天！」

ネーミング 決定 

愛情たっぷり
宇和海の
鯛じゃこ天



